

3. 議事

(2) 今後のまちづくり会議の運営について

・代表者・世話人等の選出・育成(前回に引き続いての課題)

- 本会を住民主体の組織に移行するためのリーダーとなる人材が必要。
⇒現在は、まちづくり会議・部会において、代表者等を選出できていない。
⇒活動当初より、具体的な活動が続ける中で選出できたらという意見。

前回と同様の課題ではあるが、活動が続ける中で、部会によっては中心となる人物が出てきている。

→どのような形で、代表者・世話人等として選出するか？
(各部会の代表者による幹事会など)

→代表者・世話人等がいなくても活動はできるが、対外的に代表者がいないのは活動に支障が出る。

→前回のまちづくり会議では、役員会やコアなメンバーのみの集まりが必要ではないか？という意見も出始めていた。

・新たなメンバーについて

<これまででは>

・社会福祉協議会及び地域福祉課が進める「校区交流会議」参加者が、金剛地区まちづくり会議に参加。(全体会議&各部会)

・地区内外で活動する団体や住民等の参加。
(校区福祉委員会やすこやかネット、富田林市の農業を創造する会 etc...)

<第6回まちづくり会議では>

自治会町会とのつながりを大事にしつつ、
様々な人が様々な立場でまちづくり会議に参加できる体制づくりを進める。
→どのような体制づくりを進めていくべきか？

・地区への「金剛地区まちづくり会議」の浸透

新たな参加者、町会自治会とのつながり作りのためには、「金剛地区まちづくり会議」を地区内の住民に知ってもらう必要がある。

→どれだけの人に認知されているのか？
→認知度をあげるには？

・情報発信

現在、情報発信については事務局が中心となって行っている。

(市HP、FBページ、ニュースレター等)

→まちづくり会議メンバーによる発信は行えていない。

→回覧等も市が各町会自治会にお願いしている。

まちづくり会議メンバーに、情報発信に興味を持ってもらうためには？

・活動継続のために

(1) 活動継続のための予算の確保

各部会の活動を今後も継続していくためには、予算の確保が必要。

→自分たちで自分たちの活動費用を捻出する。

<活動に伴う費用等について>

(例えば、つながりカフェは…)

収入:参加費 4,100円(ひとり100円×41人)

支出:7,984円(消耗品やチラシ印刷費)

(ニューズレター印刷費)

プリントパック:17,825円(第1号、4,500部)

(その他)

・マルシェなどイベント等のチラシ印刷及び配布は、今は市が行っている。

(例えば、前回のマルシェでは約1,000枚印刷。)

ポスティング等お願いするにも、費用がかかる。

・会議等を行う際の会場費も、今は市が持つ。

・今後、イベントやフィールドワークなどの際には、保険をかける必要がある。

活動の継続・拡大のためには予算の確保は必須。

→どのように予算確保を進めていくべきか？

・活動継続のために

(2) 規則等のルール作り

会議の運営、イベント等の開催に際してのルール作りが必要。

これまでは、とにかく活動すること、開催することが必要であったが、
今後は活動を継続するための体制作りが必要。

→どのように規則作りを進めるか？